事務事業マネジメントシート 令和 2 年度事業 事後評価·決算

ェ

Juli.	事務事業名	地域特産品処理加	工施設管理事業	所属部	吉田総合センター	所属課 自治振興課
総	政策名	〈V〉挑戦し活力を産る	みだすまち≪産業≫	所属G	自治振興グループ	課長名 渡部 一雅
総合	施策名	〈36〉観光の振興		担当者名	大谷 美里	電話番号 0854-74-0211
計	日谷	トの人 B)市民	意 A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもら	世ヨ有石	八分 天王	(内線) 4416
画	的象色	MUN DILICE	図 う。 B)観光情報を発信する。	予算科目	会計 款 大事業 大	事観光施設管理事業
体	基本事業名	〈107〉受け入れ施設の	り充実	J 升14口	0 1 3 5 0 1 第	名 既况尼欧昌连事未
系	目対観光を	2	意 観光施設を利用できる。	==	項 目 中事業 中 0 5 2 9 第	事 地域特産品処理加工施設管
	的象地元名	î	図していた。		052029	(名)理事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間 ☑ 単年度繰返 | 単年度のみ (H16 年度~) ■ 期間限定複数年度 年度~ 年度) ②事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・指定管理業務により施設の維持管理を行

・公共施設管理計画に基づき、利用者への 「譲渡」に向けて協議、検討を行う。

(2	2) 事務事業の手段・指標								
	①主な活動								
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動	助)	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動)						
	・指定管理業務(最終年)			•R3.4	.1より閉館し	、普通財産と	して管理。		
	・消防設備点検委託業務(単年度	契約)							
	・R3.3.31をもって条例廃止。								
手	・利用者への「譲渡」に向けて、利	用者、	関係	XR3:	年度から市有	頁施設等管 理	事業へ移		
段	部局との協議。			管。					
+×									
		*** * * * * * * * * * * * * * * * * * *	H30:	年度	R元年度	R2年度	R3年度		
		単位		績)	(実績)	(実績)	(計画)		
ア	指定管理施設運営に関する協議			1					
7	回数	回			3	20	*		
イ									
-1									
ゥ									
_									

(3) 事務事業の目的・指標

	$\langle \mathbf{O} \rangle$	争伤争未の日的・拍信							
	(① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
			ア	雲南市人口	人	37,012	36,248	36,024	*
		施設利用者、観光客	イ	指定管理団体	団体	1	1	1	*
E	∄		ゥ						
Á	的	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
		・市内外の方がたくさん「食の幸ふるさと 屋」を訪れ、地域ならではの食を楽しむ。	ア	食の幸ふるさと屋施設利用者数	人	587	550	34	*
		・農産加工所の利用月数を保ち、食材の加工や加工された特産品が充実する。		農産加工所利用月数	月	9	12	12	*
			ゥ						

(4) 事務事未のコヘト								
① 事業費の内訳(2年度	① 事業費の内訳(2年度決算)			単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
			国庫支出金	千円				
委託料(指定管理料)	83千円	事源		千円				
委託料(消防設備点検)	11千円	事は	地方債	千円				
計	0.4.千田		その他	千円				
		費割	一般財源	千円	81	203	94	
			事業費計(A)	千円	81	203	94	
		人	正規職員従事人数	人	1	1	2	
		件	延べ業務時間	時間	3	5	50	
		費	人件費計(B)	千円	13	21	210	
		 -	ータルコスト(A)+(B)	千円	94	224	304	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化	(この事務事業を取り巻く状況(対	この事務事業を取り巻く状況(対
象者や根拠法令	等)はどう変化しているか? 開始)はどう変化しているか? 開始
時期あるいは5年	F前と比べてどう変わったのか?)	fと比べてどう変わったのか?)

② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)

③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)

・食の幸ふるさと屋は、吉田村がH63年に整備し、当時から現在の使用者がこの地域ならではの食の提供を行ってきた。近年は年間の使用許可を出し、予約があるときだけ使用している。・農産加工所は、吉田村がS62年に整備し、H18年度から現在まで地元の農事組合など、大・世紀2・20年、

エ:H23~28年)
・R3年3月31日で「鉄の未来科学館条例」「地域特産品処理加工施 設条例」を廃止。

・実績や市方針に基づき指定管理料の適正化・

効率化を図っている。

・H29年度指定管理料の見直しを行った。 ・R2年度で指定管理を終了とし、普通財産とし て管理することになった。

・集客施設で案内できるように、予約なしで行ける食事処 がほしい。

・施設の売払いや今後の使用については、現在の利用者 と十分に協議してほしい。

雲南市(R02年3月改正版)ver.1.4

所属部 吉田総合センター

所属課 自治振興課

2	事後評価	(SEE)
---	------	-------

2	爭移	发評	F価【SEE】													
			(表体系との整合性	この事務事業の目	的は市の	政策体系に結び	ゾつくか?	意図することが	「結びついてい	るか?	見直	し余地がる	あるとする	5理由		
	Į.	~	見直し余地がある	る □ 紙	がつい	いている			* 余地がる	ある場合■	R 3年	度から普	通財産と	して管理す	るた	
А												め、「地域特産品処理加工施設管理事業 としては廃止となる。今後の施設の管理				
目	21	公夫	共関与の妥当性	なぜこの事業を市た	「行わな」	ければならない	のか?税	金を投入して選	産成する目的:	か?				後の施設の)管理、	
的亚	Ī	~	見直し余地がある	5 T ₹	当であ	 うる			* 余地がる	ある場合■	洁用 洁用	について	見迫す。			
妥当			30_0.,													
生性	3 \$	対象	象・意図の妥当性	対象を限定・追加	する必要	はないか?意	図を限定・	拡充する必要	はないか?		Ī					
ΙŦ	Г	$\overline{}$	見直し余地がある	5 V ii	切であ	5る			* 余地がる	ある場合■	\$					
			увшо и то		_ ,,	, ,										
	4) F		果の向上余地 成	は果を向上させる余地	はあるか	、? 成果を向上	こさせるたと	め現在より良い	やり方ははな	ないか? 何	が原因で	成果向上が	期待できた	いのか?		
			向上余地がある			指定管理	₹者は使	用許可、電	気料水道	料の徴収	෭のみを	行ってい	た。			
	E	~	向上余地がない		理由	施設は年	F間を通	して使用許	可となって	いるため	、使用和	皆の意向	に沿った	-施設使用	となっ	
						ていた。										
			<u>Ŀ・休止の成果へ</u>	の影響 この事務	事業を履	を止・休止した場						A APP - 1				
В			影響無					2得者がその								
有	Į.		影響有		理由			古で地元の							施設を	
効						所有し、	取り組ま	れているた	め、この事	₿務事業?	を廃止し	ても影響	はない	•		
性	0 4	k= /1:	以声巻しの仕広へ	き推り口が出		h										
			<u>以事業との統廃合</u> 他に手段がある	* 連携の可能性 * ある場合 ■		或には、この事務		<u>の手段(類似事</u> 設等管理事		? ある場合、	その類似	事業との統層	ĕ合•連携 <i>t</i>	「できるか?		
	Į.	~	世に于段かのる			りは一段(事業名)	巾有旭	. 政守官理事	₹							
				連携ができない	一块户		、こ 並 活	財産として	毎畑ナス+	- 14 F±4h:	出性去り	⊐ <i>b</i> n 1⊞ +n	一佐凯	- 本田中本	1617	
				年13571、くこない		は廃止と		.別座として	官理するだ	こなり、「」也。	以付生口	旧处垤加	上 他 改	官垤争未」	اکالاز	
	г	-	他に手段がない		理由	は発出と	.ひる。									
			101-1120													
	(7) <u>I</u>	丰当	12 7 12 0	成里を下げずに事業	業費を削	減できないか?	(什様や	て法の適正化	住民の協力	た ど)						
	_		業費の削減余地	成果を下げずに事業	業費を削						2管理料	は削減と	なるが	譲渡に向	1けて	
	Ī	~	業費の削減余地 削減余地がある	成果を下げずに事業		R3年度か	いら普通	エ法の適正化、 財産として 際一定程度	管理するた	とめ、指定		は削減と	こなるが	、譲渡に向]けて	
С	Ī	~	業費の削減余地	成果を下げずに事	業費を削理由	R3年度か	いら普通	財産として	管理するた	とめ、指定		は削減と	<u></u> なるが	、譲渡に向	けて	
C 効	<u> </u>	7	業費の削減余地 削減余地がある 削減余地がない			R3年度か	いら普通	財産として	管理するた	とめ、指定		は削減と	こなるが	、譲渡に向]けて	
C 効	<u> </u>	7	業費の削減余地 削減余地がある		理由	R3年度か	から普通 や貸付の	財産として際一定程度	管理するた との事業費	さめ、指定 は必要。	,]けて	
C 効	<u> </u>	> 人作	業費の削減余地 削減余地がある 削減余地がない		理由	R3年度かの準備や	いら普通 ら貸付の ちのエ夫で	財産として際一定程度	管理するたまの事業費	とめ、指定 は必要。 ないか? 正	職員以外	や外部委託	こができない	いか?		
C効率	8 2	人作	業費の削減余地 削減余地がある 削減余地がない 件費(延べ業務時		理由成果を	R3年度かの準備や	いら普通 ら貸付の ちのエ夫で	財産として際一定程度	管理するたまの事業費	とめ、指定 は必要。 ないか? 正	職員以外	や外部委託	こができない	いか?		
C効率	8 2	人作	業費の削減余地 削減余地がある 削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がある		理由	R3年度か の準備や <u>下げずにやり</u> 譲渡に向	いら普通 ら貸付の ちのエ夫で	財産として際一定程度	管理するたまの事業費	とめ、指定 は必要。 ないか? 正	職員以外	や外部委託	こができない	いか?		
C効率	8 ,	人作	業費の削減余地 削減余地がある 削減余地がない 牛費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない	間)の削減余地	理由 成果を 理由	R3年度かの準備や の準備や :下げずにやりプ 譲渡に向 ている。	から普通 ウ貸付の <u>ちのエ夫で</u> 引けて、利	財産として際一定程度のでは、業務時間では、実際のでは、	管理するだまの事業費の事業費	とめ、指定 は必要。 ないか? 正 関係部局	職員以外 品との協	や外部委託議がある	こができない	いか?		
C効率性	8 /	人作	業費の削減余地 削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない	間)の削減余地の適正化余地	理由 成果を 理由	R3年度かの準備や の準備や 譲渡に向 でいる。	から普通や貸付の方の工夫で引けて、利益者に偏っ	財産として際一定程度で基本業務時間利用者、購入	管理するだまの事業費の事業費の事業費の事業費を削減できた。 入希望者、ではないか?	とめ、指定 は必要。 ないか? 正 関係部 の 受益者負	職員以外別との協	や外部委託 議がある ・公正か?	ができない ため、ま	いか? 美務時間は	t増え	
C 効率性 D	8 / F	人	業費の削減余地 削減余地がある 削減余地がない 生費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない 益機会・費用負担 見直し余地がある	間)の削減余地の適正化余地	理由 成果を 理由	R3年度かの準備や の準備や 譲渡に向 ている。 をが一部の受益 これまで	いら普通 り貸付の 方の工夫で 引けて、利 益者に偏っ は行政!	財産として 際一定程度 延べ業務時間 可用者、購入 でいて不公平 財産を各施	管理するたまの事業費を削減できた人希望者、ではないか?	とめ、指定 は必要。 はいか? 正 関係部 の 受益者負 リ用で、公	職員以外 引との協 担が公平 平、公I	や外部委託 議がある ·公正か? Eの部分	ため、美で見直し	いか? 美務時間は	は増え	
C効率性 D公	8 / F	人	業費の削減余地 削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない	間)の削減余地の適正化余地	理由 成果を 理由	R3年度かの準備や の準備や 譲渡に向 ている。 をが一部の受益 これまで が、R3年	いら普通 ら貸付の <u> 方の工夫で</u> 引けて、 着者に偏っ は行政 に度から	財産として際一定程度では、業務時間対用者、購入でいて不各施が産を各施普通財産と	管理するたまの事業費を削減できた人希望者、ではないか?	とめ、指定 は必要。 はいか? 正 関係部 の 受益者負 リ用で、公	職員以外 引との協 担が公平 平、公I	や外部委託 議がある ·公正か? Eの部分	ため、美で見直し	いか? 美務時間は	は増え	
C 効率性 D	8 / F	人	業費の削減余地 削減余地がある 削減余地がない 生費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない 益機会・費用負担 見直し余地がある	間)の削減余地の適正化余地	理由 成果を 理由 事業内:	R3年度かの準備や の準備や 譲渡に向 ている。 をが一部の受益 これまで	いら普通 ら貸付の <u> 方の工夫で</u> 引けて、 着者に偏っ は行政 に度から	財産として際一定程度では、業務時間対用者、購入でいて不各施が産を各施普通財産と	管理するたまの事業費を削減できた人希望者、ではないか?	とめ、指定 は必要。 はいか? 正 関係部 の 受益者負 リ用で、公	職員以外 引との協 担が公平 平、公I	や外部委託 議がある ·公正か? Eの部分	ため、美で見直し	いか? 美務時間は	は増え	
C効率性 D公平性	(8) 2 (7) (7) (8) 2 (7) (7) (8) 2 (8) 2 (7) (7) (8) 2 (7)	人	業費の削減余地 削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がない 内 削減余地がない 上機会・費用負担 見直し余地がある	間)の削減余地の適正化余地	理由 成果を 理由 事業内:	R3年度かの準備や の準備や 譲渡に向 ている。 をが一部の受益 これまで が、R3年	いら普通 ら貸付の <u> 方の工夫で</u> 引けて、 着者に偏っ は行政 に度から	財産として際一定程度では、業務時間対用者、購入でいて不各施が産を各施普通財産と	管理するたまの事業費を削減できた人希望者、ではないか?	とめ、指定 は必要。 はいか? 正 関係部 の 受益者負 リ用で、公	職員以外 引との協 担が公平 平、公I	や外部委託 議がある ·公正か? Eの部分	ため、美で見直し	いか? 美務時間は	は増え	
C効率性 D公平性	(8) 2 (7) (7) (8) 2 (7) (7) (8) 2 (8) 2 (7) (7) (8) 2 (7)	人	業費の削減余地 削減余地がある 削減余地がない 生費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない 益機会・費用負担 見直し余地がある	間)の削減余地の適正化余地	理由 成果を 理由 事業内:	R3年度かの準備や の準備や 譲渡に向 ている。 をが一部の受益 これまで が、R3年	いら普通 ら貸付の <u> 方の工夫で</u> 引けて、 着者に偏っ は行政 に度から	財産として、際一定程度の対象を表現である。	管理するたまの事業費を削減できた。 ではないか? はは1者管理する ではは1者で現す	とめ、指定 は必要。 以か?正 関係部 見用でいめ、 の総括(根	職員以外別との協 担が公平下、公丁「地域特	や外部委託 議がある ・公正か? Eの部分 F産品処3	ができない ため、 ず で見直し 里加工が	いか? 美務時間は の余地が 西設管理事	があった。	
C 効率性 D 公平性	(8) J	人	業費の削減余地 削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がない 性費(減余地がない 上費(延べ業務時 削減余地がない 上費(してのません)	間)の削減余地の適正化余地る。	理由	R3年度かの準備や でげずにやりが 譲渡にらっている。 をが一部の受益が、R3年 しては廃	から普通 か貸付の 方の工夫で 売りけて、利益 は存から はまたかなる	財産として18年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19年の19	管理するたまの事業費を削減できる。 で設立を発する。 ではなるのではなるのではなるのではなるのではなるのではなるのではなるのではなるの	とめ、指定 は必要。 はいか?正 関係部 を登立、め、 の総理につ	職員以外別との協 担が公平で、公工「地域特別と理しいては	や外部委託 議がある ・公正か? Eの部分 F産品処3 よ) 、公共施	ができないため、うで見直したができない。 で見直したが、 で関加工が 設管理	か? 美務時間は の余地が 記設管理事	は増え があった 事業」と	
C効率性 D公平性	(8) J	人人人	業費の削減余地 削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がない 件費(減余地がない 機会・費用負担 見直し、公正である	間)の削減余地 の適正化余地 る 。 平価結果	理由成果を事理由	R3年度かの準備や でデザーでもりが 譲渡につる。 をが一部の受益 これ、R3 年 しては 廃	いら普通の ち貸付の 方の工夫で 可けて、末 は度は度となる。	財産として担所のでは、大学のでは、まればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	管理するたまでは、本語では、本語では、またのでは、またのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	とめ、指定 は必必要。 はいか?正 関係を基で、め、 が管理のよう	職員以外別との協 担が公平「地域と平」、 は関連と理しいでは、 は変を検	や外部委託 議がある ・公正か? Eの部分 手産品処理 も、公共施 、対」の方	ができない ため、す で見加工が 設管理 設針となっ	www 変務時間は の余地が 面設管理事 計画で「利 ている。そ	t増え 「あった 「素業」と 用者 (の方	
C 効率性 D 公平性	(8) J	人人人	業費の削減余地 削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がない 性費(減余地がない 上費(延べ業務時 削減余地がない 上費(してのません)	間)の削減余地 の適正化余地 る か 平価結果 「適切 「適切	理 東 理 見見	R3年度かの の準備や ででででででいる。 をが一部のまでは、 が、では、 とのまで、 は、 とのでは、 になりがでする。 ででは、 になりができる。 になりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでも	から普通の ち貸付の工夫で、利 を着行かなる。 は度止となる。	財産として程度を定せて、大学のでは、まればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	管理するたまではなるではなるではなるではなるではなるではなるではなるではなるではなるではなる	とめ、指定 は必必で はいかで はいかで は は は は は は は は は は は り の と が れ い の は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	職員以外別との協 担が公公下「地域と理」 は渡に向いま渡に向いまた。	や外部委託 議がある ・公正か? Eの部の引 ・大公の協議 ・対しの協議	ができな、 ため、 で里加工 一で里加工 一で里 設針を でまる。	www 変務時間は の余地が 西設管理事 計画で「利 ている。そ	は増え がまました おうしょ おうしょ おうしょ おうしょ あった こうしゃ こうしゃ こうしゃ こうしゃ はいま かいしゅう こうしゃ はいま かいしゅう こうしゃ はいま かいしゅう はいま かいしゅう はいま かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	
C効率性 D公平性 評価の総	8 / F	人	業費の削減余地 削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がない 件費(減余地がない 機会・費用負担 見直し、公正である	間)の削減余地 の適正化余地 る 。 平価結果	理 東 理 見見	R3年度かの準備や でデザーでもりが 譲渡につる。 をが一部の受益 これ、R3 年 しては 廃	から普通の ち貸付の工夫で、利 を着行かなる。 は度止となる。	財際 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型	管理するだけでは、 で設してで設してでいる。 ではは1な1を一個のいい条ででは、から利すができます。 ではは1な1を一個のいい条でできます。 ではな1を一個のいい条でできます。 ではな1を一個のいい条でできます。	とめ、指定 は必必では はいかででは はいかででは は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	職員以外 別との協 担が公公下「地域と理」は検いてを向い でででは、	や外部委託 議がある ・公正か? Eの部の引 ・大公の協議 ・対しの協議	ができな、 ため、 で里加工 一で里加工 設計 きな行っ	www 変務時間は の余地が 西設管理事 計画で「利 ている。そ	は増え がまました おうしょ おうしょ おうしょ おうしょ あった こうしゃ こうしゃ こうしゃ こうしゃ はいま かいしゅう こうしゃ はいま かいしゅう こうしゃ はいま かいしゅう はいま かいしゅう はいま かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	
C 効率性 D 公平性 評価の	(1) 1 (1) 1 (2) 4 (3) 5 (4) 6 (4) 6 (5) 6 (6) 6 (7) 6	人	業費の削減余地 削減余地がない 性費(延べ業務時 削減余地がない 性費(減余地がない 上機会・費用負担 見立・公正である 評価者としての 目的好性	間)の削減余地 の適正化余地 る か 平価結果 「適切 「適切	理 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財	R3年度かの の準備や ででででででいる。 をが一部のまでは、 が、では、 とのまで、 は、 とのでは、 になりがでする。 ででは、 になりができる。 になりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでも	いら普通の ちゅう から できます から できます から できます かい	財際 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型	管理するたまではなるではなるではなるではなるではなるではなるではなるではなるではなるではなる	とめ、指定 は必必では はいかででは はいかででは は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	職員以外 別との協 担が公公下「地域と理」は検いてを向い でででは、	や外部委託 議がある ・公正か? Eの部の引 ・大公の協議 ・対しの協議	ができな、 ため、 で里加工 一で里加工 設計 きな行っ	www 変務時間は の余地が 西設管理事 計画で「利 ている。そ	は増え がまました おうしょ おうしょ おうしょ おうしょ あった こうしゃ こうしゃ こうしゃ こうしゃ はいま かいしゅう こうしゃ はいま かいしゅう こうしゃ はいま かいしゅう はいま かいしゅう はいま かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	
C効率性 D公平性 評価の総	(1) 1 (1) 1 (2) 4 (3) 5 (4) 6 (4) 6 (5) 6 (6) 6 (7) 6	人	業費の削減余地 削減余地がない 中費(延べ業務時 削減余地ががない 中費(減余地ががない 上費を受ける。 一般である は機会・費用負担 の公正である である。 である。 である。 である。 である。 である。	間)の削減余地の適正化余地の適正化余地の適可を表める。	理 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財	R3年度 の	いら普通の ちゅう から できます から できます から できます かい	財際 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型	管理するだけでは、 で設してで設してでいる。 ではは1な1を一個のいい条ででは、から利すができます。 ではは1な1を一個のいい条でできます。 ではな1を一個のいい条でできます。 ではな1を一個のいい条でできます。	とめ、指定 は必必では はいかででは はいかででは は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	職員以外 別との協 担が公公下「地域と理」は検いてを向い でででは、	や外部委託 議がある ・公正か? Eの部の引 ・大公の協議 ・対しの協議	ができな、 ため、 で里加工 一で里加工 設計 きな行っ	www 変務時間は の余地が 西設管理事 計画で「利 ている。そ	は増え がまました おうしょ おうしょ おうしょ おうしょ あった こうしゃ こうしゃ こうしゃ こうしゃ はいま かいしゅう こうしゃ はいま かいしゅう こうしゃ はいま かいしゅう はいま かいしゅう はいま かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	
C効率性 D公平性 評価の総	(1) 1 (1) 1 (2) 4 (3) 5 (4) 6 (4) 6 (5) 6 (6) 6 (7) 6	人	業費の削減余地 削減余地がない 中費(延べ業務時 削減余地ががない 中費(減余地ががない 上費を受ける。 一般である は機会・費用負担 の公正である である。 である。 である。 である。 である。 である。	間)の削減余地の適正化余地の適正化余地の適可を表める。	理 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財	R3年度 の	いら普通の ちゅう から できます から できます から できます かい	財際 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型 三型	管理するだけでは、 で設してで設してでいる。 ではは1な1を一個のいい条ででは、から利すができます。 ではは1な1を一個のいい条でできます。 ではな1を一個のいい条でできます。 ではな1を一個のいい条でできます。	とめ、指定 は必必では はいかででは はいかででは は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	職員以外 別との協 担が公公下「地域と理」は検いてを向い でででは、	や外部委託 議がある ・公正か? Eの部の引 ・大公の協議 ・対しの協議	ができな、 ため、 で里加工 一で里加工 設計 きな行っ	www 変務時間は の余地が 西設管理事 計画で「利 ている。そ	は増え がまました おうしょ おうしょ おうしょ おうしょ あった こうしゃ こうしゃ こうしゃ こうしゃ はいま かいしゅう こうしゃ はいま かいしゅう こうしゃ はいま かいしゅう はいま かいしゅう はいま かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	

3 今後の方向性【PLAN】	
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
 ▶廃止	コスト
	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上 しない、もしくはコスト維持で成果低下では 改革・改善とはならない。